

## 女性ホルモン剤と血栓症に関する全国調査

(厚生労働科学研究 血液凝固異常症に関する調査研究班)

近年、女性ホルモン剤の使用量は増加しておりますが、女性ホルモン剤の重要な副作用の一つとして血栓症が知られています。しかし、女性ホルモン剤の認可や処方の変遷に伴う近年の日本の血栓症の実態は分かっていません。日本の現状を把握することは、安全な女性ホルモン剤の使用にとって極めて重要なことであり、今回標記の全国調査が行われることになりました。当院でもこの調査に協力することとなり、脳神経外科に上記の血栓症で入院された患者さんのデータを、個人情報にはわからないようにして提供することになります。患者さんのプライバシーは完全に保護される体制で研究は行われますが、本研究の解析にあたりご自分のデータが使用されることを拒否される方、および疑問のある方は以下の担当者にご連絡ください。

2013年12月16日

JAとりで総合医療センター 脳神経外科：鶴岡 信

TEL：0297-74-5551